

(3) なす

RPA

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	作物名
うどんこ病	インプレクションクリア	バチルスアミロリクエファシエンス水和剤	BM2		1000～2000倍	100～300 μ g/10a	発病前から発病初期まで	散布	-	野菜類
	シグナムWDG	ピラロクストロビン・ボスカリド水和剤	11,7		1500倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
	トリフミン水和剤	トリフミン β -D-グルコシド水和剤	3		3000～5000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	なす
	パルミノ	キノキサリン系水和剤	"UN(I*)		2000倍	150～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
	プロパチアゾール	ピリオフェン水和剤	50		3000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
	モレスタン水和剤	キノキサリン系水和剤	"UN(I*)		2000～3000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
灰色かび病	カンタストライフアゾール	ボスカリド水和剤	7		1000～1500倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
	スプレックス水和剤	プロキシメソン水和剤	2		1000～2000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	6回以内	なす
					250g/10a	5 μ g/10a	収穫前日まで	常温煙霧	6回以内	なす
	ポリリン水和剤	イミノクジン酢酸塩・ポリオキシジン水和剤	"[-](I*),M7		1000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
	ロブラル水和剤	イプロジオン水和剤	2		1000～1500倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	4回以内	なす
苗立枯病	オーソサイト水和剤80	キャプタン水和剤	M4		800倍	2 μ g/m ²	は種後から2～3葉期まで	灌注	5回以内	なす
					種子重量の0.2～0.4%	-	は種前	種子粉衣	1回	なす
アザミウマ類	アドマイヤ-1粒剤	イミダクロプリド粒剤	4A		1～2g/株		定植時	植穴又は株元土壌混和	1回	なす
	アドマイヤ-水和剤	イミダクロプリド水和剤	4A	劇	2000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	なす
	アベイル粒剤	アセタミプリド・シアントラニプロール粒剤	28,4A		2g/株		育苗期後半～定植当日	株元散布	1回	なす
	ダブルシューターSE	脂肪酸グリセリド・スピノサド水和剤	"[-],5		1000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	なす
	モスリン顆粒水溶剤	アセタミプリド水溶剤	4A	劇	2000～4000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
アブラムシ類	アグロスリン乳剤	シメクトリン乳剤	3A	劇	2000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	なす
	アドマイヤ-1粒剤	イミダクロプリド粒剤	4A		1～2g/株		定植時	植穴又は株元土壌混和	1回	なす
					1g/株		育苗期後半	株元散布	1回	なす
	アドマイヤ-水和剤	イミダクロプリド水和剤	4A	劇	100g/10a	5 μ g/10a	収穫前日まで	常温煙霧	2回以内	なす
					2000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	なす
	アベイル粒剤	アセタミプリド・シアントラニプロール粒剤	28,4A		2g/株		育苗期後半～定植当日	株元散布	1回	なす
	オルトラン粒剤	アセフェート粒剤	1B		3～6kg/10a(1～2g/株)		定植時	作条散布又は植穴処理	1回	なす
ジェイエース粒剤	アセフェート粒剤	1B		3～6kg/10a(1～2g/株)		定植時	作条散布又は植穴処理	1回	なす	

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	作物名
アブラムシ類	ハクサップ水和剤	フェンパレート・マラソン水和剤	1B,3A	劇	2000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	なす
	ベストガード水溶剤	ニテンピラム水溶剤	4A		1000～2000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
	マブリック水和剤20	フルバリネート水和剤	3A	劇	4000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	なす
	マラソン乳剤	マラソン乳剤	1B		2000～3000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	6回以内	なす
	モスピラン顆粒水溶剤	アセタミプリド水溶剤	4A	劇	2000～4000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
	モベントフロアブル	スピロテトラマト水和剤	23		2000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
				500倍	25～50mL/株	育苗期後半～定植当日	灌注	1回	なす	
	ロテーター乳剤	フェンプロパトリン乳剤	3A	劇	1000～2000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	なす
オオタバコガ	スピノエース顆粒水和剤	スピノサド水和剤	5		5000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	なす
	トルネードエースDF	インドキサカルブ水和剤	22A		2000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	なす
オンツコナジミ	アデイオン乳剤	ペルメトリン乳剤	3A		2000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
	オルトラン粒剤	アセフェート粒剤	1B		3～6kg/10a(1～2g/株)		定植時	作条散布又は植穴処理	1回	なす
	ジエース粒剤	アセフェート粒剤	1B		3～6kg/10a(1～2g/株)		定植時	作条散布又は植穴処理	1回	なす
	ハクサップ水和剤	フェンパレート・マラソン水和剤	1B,3A	劇	2000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	なす
チャノホリダニ	モレスタン水和剤	キノキサリン系水和剤	UN*, M10		2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
チャノホリダニ幼虫	アプロート水和剤	プロプロフェンジン水和剤	16		1000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
テントウムシダマシ類	アデイオン乳剤	ペルメトリン乳剤	3A		2000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
	スミチオン乳剤	MEP乳剤	1B		1000～2000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	なす
ネリムシ類	カルス粉剤	イソキサチオン粉剤	1B		6kg/10a		は種時又は植付時	土壌表面散布土壌混和处理	2回以内	なす
ハスモンヨトウ	アデント水和剤	アクリナトリン水和剤	3A		1000倍	150～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	4回以内	なす
	ノモルト乳剤	テフルベンスロン乳剤	15		2000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	なす
	マトリックフロアブル	クロマフェジド水和剤	18		2000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
ハダニ類	コテツフロアブル	クロルフェピル水和剤	13	劇	2000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	4回以内	なす
	コロマイト乳剤	ミルベメクチン乳剤	6		1500倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	なす
	ハロックフロアブル	エトキサゾール水和剤	10B		2000倍	100～350 μ g/10a	収穫前日まで	散布	1回	なす
	粘着くん液剤	デソップン液剤	[-]		100倍	150～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	-	野菜類
ミナキイロザミウマ	コテツフロアブル	クロルフェピル水和剤	13	劇	2000倍	100～300 μ g/10a	収穫前日まで	散布	4回以内	なす